

・コスト縮減検討WG

2002年度報告書

土工協 CALS/EC 部会

## ・コスト縮減検討WG

### 1．活動概要

コスト縮減検討WGは、平成14年7月から活動を開始している。平成14年度部会アクションプログラムに従って、[平成14年度および15年度の活動計画を資料1](#)の通り作成した。

コスト縮減効果の定量的、定性的評価

コスト最小化から見た業務執行モデルの検討

コスト縮減から見たCALS/EC推進法

情報化実態調査の実施と纏め（第3編 情報化実態調査 に掲載）

### 2．活動テーマ

#### 2.1 コスト縮減効果の定量的、定性的評価（平成14年度～平成15年度）

##### （1）現状把握

a．当部会の活動（主にPJ活動）をコスト縮減から整理する。

b．発注者（主に国土交通省、JACIC等）に対して電子入札、電子納品に関するコスト縮減効果を調査する（ヒアリング調査を含む）。

c．WG参加会社に対してコスト縮減に関するアンケート調査を実施して、報告書に纏める。

[資料3（電子納品実施現場のコスト縮減調査結果）](#)

d．国土交通省との意見交換会用に資料を纏め、適時報告を行う。

##### （2）コスト縮減効果の比較評価

a．電子納品、電子入札に関してヒアリング調査を実施し、幾つかの条件を設定してケーススタディを行う。

b．電子調達の利用と社内購買・資材・会計システムとの連携によるコスト縮減効果を検討する。

c．海外の建設業（韓国、米国）における電子調達の事例を調査する。

#### 2.2 コスト最小化から見た業務執行モデルの検討（平成15年度）

##### （1）To-Beプロジェクトと連携したコスト縮減効果の検討

a．企画WGのTo-Beプロジェクトへの参加を通じ業務執行モデルのコストパフォーマンスを検討、評価する。

##### （2）社内システムとの連携による企業としてのコスト縮減の検討

a．電子入札データを社内営業支援システムと連携する効果

b．電子納品を含めた現場文書（ファイル）管理のシステム化による効果

##### （3）企業の枠を越えて、業界共通で取り組むことによるコスト縮減の検討

a．現場技術者に対するIT技術の習得に関する教育システムの導入による効果

b．電子入札、電子納品時期に偏りがあり、繁忙期における人材派遣システムの活用に

よる効果

## 2.3 コスト縮減から見たCALS / EC推進法（平成15年度）

### (1) コスト縮減から見たCALS / EC推進法の提案

- a. コスト縮減効果の定量的、定性的評価およびコスト最小化から見た業務執行モデルの検討結果から効果的なCALS / EC推進法を提案する。